

# 京都大学理学研究科・理学部数学教室同窓会 役員会

## 0. 役員会開催方法について

新型コロナウイルス感染が、収束するどころか勢いを増しかねない情勢であり、京都大学は、入学式が開催できぬままに、講義もオンラインで行っている現状に鑑み、同窓会役員会を通常の形で開催することを断念せざるをえなくなった。

過日会長から各役員に、書面議決によって役員会を開催することについてのお考えを伺ったところ、反対意見を表明された役員はいなかった。これに基づき、今回の役員会は以下の方法を採用することにする。

- (1) 議決は書面によるものとする。書面表決書は会から各役員に郵送する。
- (2) この議案書は会長から各役員にメールで配信する。議案についての質問や意見交換は、役員全員宛のメールで行うこととし。その期間を7日間とする。
- (3) 各役員は、この期間終了後に議案についての判断を、送付した書面表決書に記入して会宛に郵送する。
- (4) 会に送られた表決書の集計は会長と副会長が行い、結果はメールにて知らせる。通常の形で役員会が開かれるとき、表決書を示して集計結果の承認を得る。
- (5) 日程
  - 議案書のメールによる送付 8月19日
  - 質問等の意見交換終了 8月26日正午
  - 書面表決書の発送 8月21日
  - 書面表決書受付の締め切り 8月28日消印有効

## 議案

### 1. 2019年度活動報告

- (1) 2019年10月26日(土)に、総会、講演会、懇親会を開催した。
  - 総会 出席者35名。会長より2018年度の活動報告があった。米谷氏より、“年会費”なる言葉を用いながら、滞納による罰則規定などがないことの問題性の指摘があった。
  - 講演会 日本総合研究所常務理事の西口健二氏による講演であった。銀行に就職した会員も聴きにきてくれた。
  - 懇親会 参加者42名。参加者がやや固定しつつある感を受ける。広く参加してもらえる方法を考えなければならない。

- (2) 2019年8月25日に同窓会誌第3号を出版し、会が送付先を把握している会員に郵送した。
- (3) 楠先生の筆による数学教室の絵3枚を絵ハガキにした。10月26日の行事参加者に配った。
- (4) 例年数学教室が開催する学位記授与式は、新型コロナ禍により中止となった。同窓会から祝辞やお土産を渡すことが出来なかった。

修士課程修了者は数学教室で学位記を受け取ったので、大部分の修了者から今後の連絡先などのデータを貰うことができた。しかし、学部卒業生は理学研究科事務室で学位記を受け取ったため、卒業後のデータを貰うことが出来なかった。従って、この学年の学部卒業生に対しては、同窓会は連絡方法をもたないことになった。

## 2. 会計報告

### 2019年度会計報告

2020年7月17日に、吉川謙一会計担当常任役員より作成された2019年度（2019年6月1日～2020年度5月31日）の会計報告が、稲生啓行監事と徳田裕也監事による監査がなされ、会計は適切に管理されてきたことが認められた。会計報告書参照。

## 3. 議事

### 第1号議案: 活動報告の承認

### 第2号議案: 会計報告、監査結果についての審議

### 第3号議案: 2020年度会計の執行

2020年度の年会費および寄付のお願いはこれまで通りに行う。支出は例年の範囲において会長の責任で行う。特別の事態が生じたときは、役員会に諮った上で支出する。

### 第4号議案: 2020年度総会、講演会、懇親会

新型コロナ禍がどうなるかの見通しが立たないなか、中止となりうることを含んだうえで、講演会の講師を世話人会で定め、お願いして了承を貰った。しかし、現状に鑑みこれらの行事を全て中止することにする。

### 第5号議案: 愛称募集の結論を先送りする

愛称募集は、2019年度の総会で2020年7月31日まで延長することが認められ、その結論を今年度に出すことになっていた。この課題の性質上、慎重な議論を要することであるので、結論は通常の形で総会が開けるまで先送りすることにする。

応募者には結論の先送りを会長から知らせる。

**第 6 号議案: 同窓会誌**

同窓会誌 4 号は通常通り発行・配布する。

**第 7 号議案: 学位記授与式**

2020 年度の学位記授与式が開かれる場合は、従来通りに同窓会は開催を助け、祝辞を述べかつ記念品を渡すことを実行する。

**第 8 号議案: 総会不開催への対応**

総会を開催しないので、この役員会で決定した案件は、会長の責任で実行し、通常の形で総会が開けたときに、事後承認を諮る。承認を得られない時は、会長が責任を取る。

以上